

名古屋港の整備拡充に関する

要 望 書



日 本 一

総取扱貨物量
外買取扱貨物量
外貿コンテナ取扱貨物量
完成自動車輸出台数
貿易輸出額
貿易黒字額

平成 27 年 11 月

愛 知 県
名 古 屋 市
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
(一社)中部経済連合会

名古屋港



名古屋港の整備拡充に関する要望

名古屋港の整備拡充につきましては、日ごろから格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋港は、平成26年の我が国の貿易収支が4年連続で赤字となる中、貿易黒字額が約6兆円と17年連続で日本一を記録し、国際戦略港湾とも肩を並べる高い実績のある港です。

今後も、日本経済を牽引する中部圏のモノづくり産業を物流面で支えるため、国際産業ハブ港の取組みをさらに加速し、拡大させた国際産業戦略港湾として、世界と闘える基盤を築き上げ、我が国の経済・産業の活性化と富の創出の実現を目指してまいります。

物流・産業面では、船舶の大型化や取扱貨物量の増加に対応するインフラ整備が最重要課題であり、既存ストックの機能強化と新たな港湾整備を効果的に組み合わせることでコンテナ・完成自動車等を取扱う総合的な港湾として機能強化を図っていく必要があります。

また、防災面においては、南海トラフ巨大地震等に対する防災・減災対策として、国土強靱化の取組みを進めるとともに、港湾施設及び海岸保全施設の老朽化対策の推進による安全・安心の確保が不可欠です。

さらに、交流面においては、水質改善による良好な水辺空間の形成や都心部と連携した親しまれる港づくりが重要となっています。

このため地域が力を結集して港湾整備に全力を挙げてまいります。その実現に向けた施策を着実に推進していくためには、国の御理解と更なる重点支援が不可欠です。

つきましては、港湾及び海岸整備予算の十分な確保とともに、必要な施策の推進に対して、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

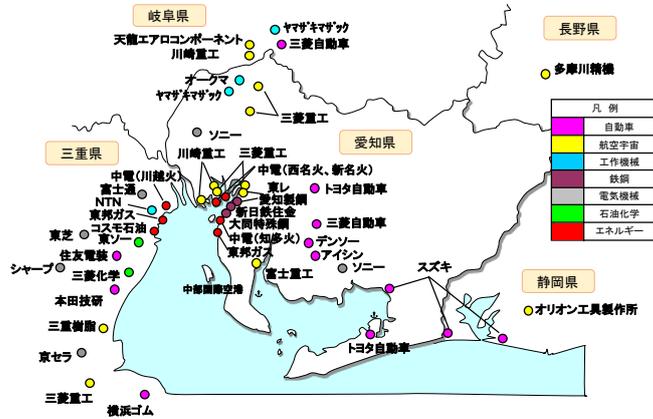
平成27年11月

愛知県知事	大村秀章
名古屋市長	河村たかし
名古屋港管理組合管理者 愛知県知事	大村秀章
名古屋商工会議所会頭	岡谷篤一
(一社)中部経済連合会会長	三田敏雄

世界屈指のものづくり産業が集積

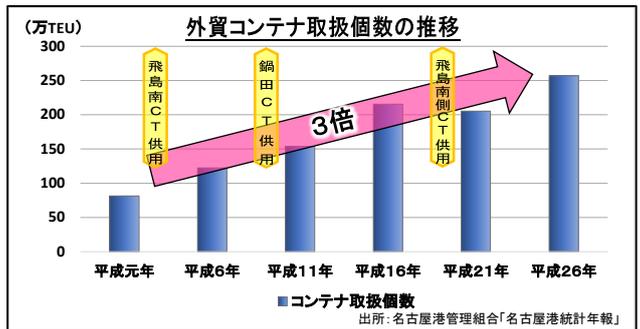
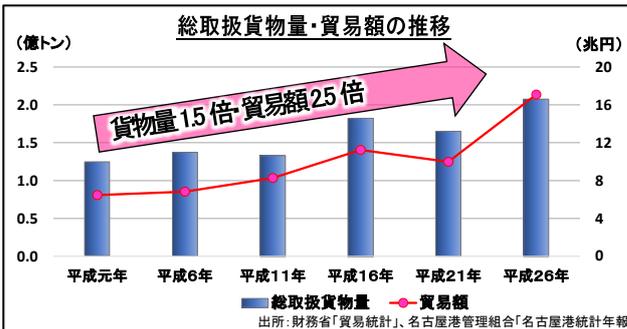
○背後圏には、基幹・次世代産業である

「自動車関連産業」、「航空機産業」等の主要メーカー多数立地

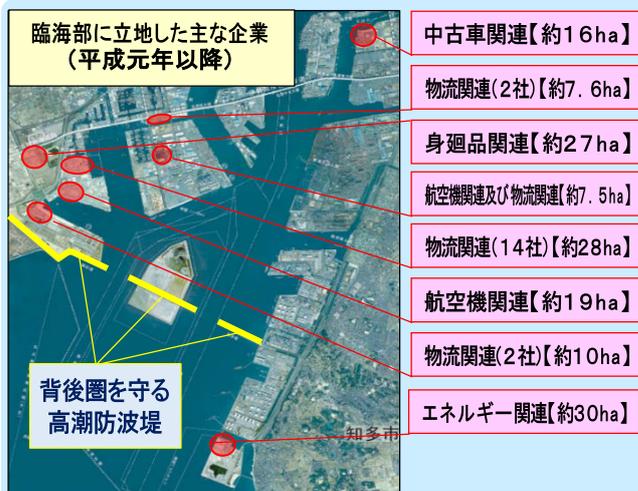


名古屋港のストック効果

総合的な港湾の整備により、取扱貨物量・貿易額等が大幅に増加

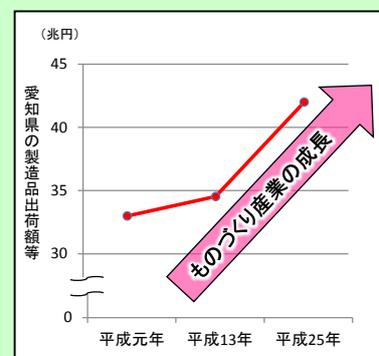


港内への企業立地と背後圏のものづくり産業の成長



企業立地がものづくり産業の成長を加速

背後圏のものづくり産業が成長



出所: 経済産業省「工業統計(産業編)」

1. 国際競争力及び産業競争力の強化と 港湾物流の環境変化に対応した港づくり

我が国経済を牽引する自動車産業、航空宇宙産業など地域の基幹産業の競争力を強化し、地域経済や雇用の面でストック効果が最大限に発揮できるよう名古屋港の物流機能強化を推進すること

中部地域の基幹産業を支える名古屋港の2大リーディングプロジェクト

金城ふ頭地区

○金城ふ頭に完成自動車取扱機能を集約・拠点化するために必要な港湾施設の整備・改良を着実に進める必要がある。



飛島ふ頭地区

○東南アジア航路の貨物量増加や、コンテナ船の大型化に対応した飛島ふ頭東側コンテナターミナルの機能強化に必要な港湾施設の整備を早期に実現する必要がある。

2. 大規模災害や施設の老朽化に対応した 安全・安心な港づくり

地域の産業にとって安全・安心を備えた港湾を実現するために、総合的な防災機能の強化や予防保全の観点から踏まえた施設の老朽化対策を促進すること



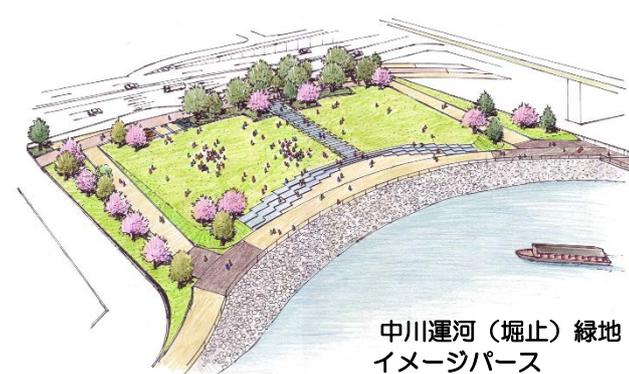
大手ふ頭 防潮壁（液状化対策）

名古屋港海岸

○南海トラフ地震等に対する地震・津波対策として防潮壁の液状化対策や堀川口防潮水門等の防災機能の強化を確実に行う必要がある。

3. 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある 親しまれる港づくり

中川運河において、都市と一体となって、水・緑・生き物に親しめる水辺空間を形成するため、緑地の確保や、水質改善施策を促進すること



中川運河（堀止）緑地
イメージパース

中川運河

○中川運河の堀止地区に魅力ある水辺空間の形成を図るために緑地の整備を実施する必要がある。

名古屋港

1907



PORT OF NAGOYA

きらめき愛される港へ いつも挑戦！

Making Steadfast Efforts to be a Vibrant and Well-loved Port!